

**国体の会場を花いっぱい**

愛顔つなぐえひめ国体「花いっぱい運動」

「えひめ国体リハーサル大会」と来年の国体に向け、花いっぱい運動が行われました。この運動は、伊予農業高校の生徒が育てた花の苗を、町内の小中学生たちがプランターに植えて、各会場に置くことで、県内外から来る人をおもてなしするものです。プランターには子どもたち直筆のメッセージも書かれています。

このうち松前小学校の2年生は、7月1日に苗を植えていきました。後藤光璃ちゃん、出来咲彩ちゃん、西村彩乃ちゃんは「力を合わせたら頑張れると思って『みんなで力を合わせて頑張ろう』と書きました」と話していました。

**国体の会場を応援のぼり旗で**

えひめ国体・えひめ大会「手書き応援のぼり旗」

9、11月に開催の「えひめ国体リハーサル大会」と来年の国体に向け、「手書き応援のぼり旗」が町内の小中学生によって作製されています。この旗は、47都道府県ごとに、その土地の特産品や名所が描かれているほか、方言を使った応援メッセージが添えられています。

このうち岡田小学校6年生は、7月15日に旗を作製しました。愛媛県の旗を作った馬越優太郎くんは、「日本一になってほしい」と思いメッセージを書きました。町外の人も伊予弁で迎えたい」と話していました。

※手書き応援のぼり旗の展示会のお知らせを裏表紙に掲載



①佐藤課長の記念講演の様子 ②成本沙織さん(松前中) ③小西乃愛さん(岡田中) ④西村董さん(北伊予中)

**犯罪や非行のない地域を目指して**

第66回“社会を明るくする運動”松前町大会

「第66回“社会を明るくする運動”松前町大会」は7月13日、文化センターで開催され、関係団体や地域住民などが参加しました。

大会では、町内中学生による作文発表が行われました。松前中学校2年生の成本沙織さんは「普通」、岡田中学校2年生の小西乃愛さんは「社会を明るくするために」、北伊予中学校2年生の西村董さんは「今ここから広がる未来」という題名で、それぞれの思いを発表しました。

記念講演では、愛媛県立えひめ学園の佐藤俊一支援課長が、「子どもの問題は親の問題」と題して、児童自立支援の観点から明るい社会について講演を行いました。その中で佐藤課長は、「困った時に相談できることが自立」と話し、明るい社会の実現に向けて、問題が発生したときは言語化して解決すること、また、普段から声をかけて接し、子どもの心の成長を止めないことの大切さを訴えていました。

**田植えの苦労を体感**

エミフル MASAKI「お米作り体験」

エミフル MASAKI (山口徹 支配人) と松前町北川原担い手組合は7月2日、「お米作り体験」を行いました。

この体験は、子どもたちに農業・自然のすばらしさや食の大切さを実感してもらうとともに、地域との交流を深めようと、エミフル MASAKI が初めて企画したものです。

当日は、小学生以下の子ども約15人が、泥だらけになりながら田植えの大変さを体感していました。松前小学校6年生の福吉夢未ちゃんは「足が埋まって大変だったけれど自分たちで育てたものができるのはうれしい」と話していました。収穫米は、参加者と高齢者施設へ贈られる予定です。

**渡瀬紀代さんが受賞**

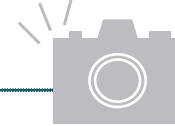
県食生活改善推進連絡協議会会長表彰

「平成28年度愛媛県食生活改善推進連絡協議会総会並びに健康づくり推進大会」は6月16日、ひめぎんホールで行われ、渡瀬紀代さん＝昌農内＝が食生活改善推進連絡協議会会長表彰を受賞しました。

渡瀬さんは、昭和63年から松前町保健栄養推進員として、「私達の健康は私達の手で」をスローガンに健康づくり推進活動を行い、地域づくりに貢献しています。



⑤表彰式後、表彰状を手に笑顔を見せる渡瀬さん

**優良工事で2社を表彰**

平成28年度優良建設工事表彰

町は、建設工事の技術の向上と適切な施工を確保するため、町が発注した建設工事のうち、特に他の模範となる優秀な工事を「優良建設工事」として表彰しています。

本年度は次の2件の工事が選ばれ、7月13日、岡本町長より表彰状と表彰盾が贈られました。

▶松前町町民グランドホッケー場便益施設新築工事(建築主体工事)
株式会社 三洋建設 代表取締役 渡部壽(写真⑥)

▶汚水(準)北黒田堅田地区管渠工事
株式会社 二神組松前営業所 所長 神山昌彦(写真⑦)

**子ども環境学園スタート**

松前町子ども環境学園

「松前町子ども環境学園2016」の開講式は6月25日、文化センターで行われ、小中高生46人が入園しました。

開講式では、町内在住で『愛媛県環境マイスター』の砂田弘二郎学園長が講義を行ったほか、町職員が町のごみ問題について説明やクイズを行いました。

今後、塩屋海岸での自然観察会や環境体験バスツアーを実施。学園生がリーダーとなり、学んだことを家庭や地域で伝えることで、環境に優しいまちづくりを目指します。



34 人が熱戦を展開

第 37 回松前町ソフトテニス大会

「松前町ソフトテニス大会」は6月12日、松前公園で行われ、17組34人が参加しました。結果は次の通りです(敬称略)。

	優勝	準優勝	3位
男子 A	松田 誠司 林 正彦	城戸 祐二 山崎 忠彦	浅海 康弘 年森 亘
男子 B	金子 勇 大塚 英一	中矢 一昌 秦 正彦	窪田 誠 中川三千夫
女子	吉田 光子 中山 淳子	篠永 哉乃 大喜田知未	中岡 愛子 勝木 庸子



ユニオンズが優勝

松前町軟式野球大会

「松前町軟式野球大会」は6月26日と7月3日の2日間、松前公園多目的広場などで開催され、9チームが参加しました。結果は次の通りです。

優勝 ユニオンズ 準優勝 リアンズ



「アタック」チームが優勝

第 28 回松前町レクバレーボール大会

「松前町レクバレー大会」は6月26日、松前公園で行われ、9チームが参加しました。結果は次の通りです。

優勝 アタック 準優勝 ごとうさん 3位 ボンバーズ



給食、おいしいね

松前小学校「学校給食試食会」

「学校給食試食会」は7月19日、松前小学校で開かれ、岡本町長や升田副町長などが参加しました。

この日の献立は、愛媛県の郷土料理「伊予さつま」。旬のえだ豆もあり、みんなでおしくいただきました。岡本町長は、「栄養教諭が苦労して工夫しながら子どもたちが喜ぶ献立を考えていることが分かりました。子どもたちもおいしそうに食べていて、一緒に楽しく食べることができました」と話していました。

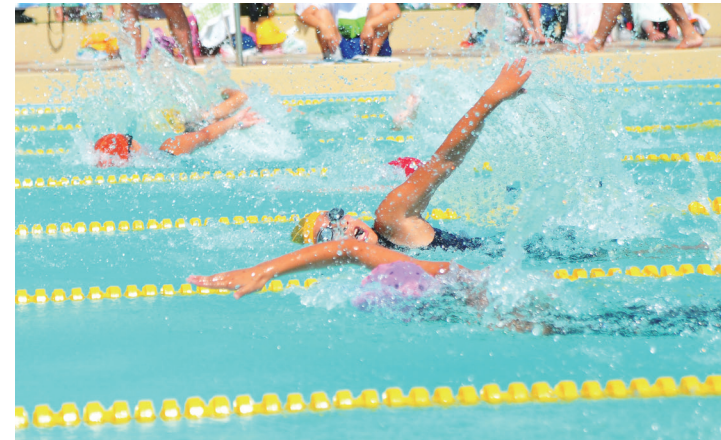


町内のスポーツ少年団が交流

スポーツ少年団交歓会

「平成 28 年度第 1 回スポーツ少年団交歓会」は6月4日、松前公園体育館で開催されました。

交歓会では、北伊予・岡田の少年団がミニバスケットボールで交流試合を実施。真剣勝負で交流を深めました。試合は、北伊予が勝利しました。



㊤豪快なストロークに水しぶきが上がる ㊦一斉に飛び出すスイマーたち ㊧一秒でも早く前へ ㊨スイマーを後押しした声援



地域の歴史に触れる

伊予高等学校「はんぎり講習会」

7月14日、伊予高等学校で、本町職員が講師を務めた「はんぎり講習会」が行われました。この講習会は、地域の伝統や歴史を知ってもらうため、毎年1年生を対象に行われています。

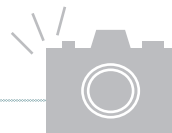
今年は、「H (はんぎり) -1 グランプリ」に高校対抗の部が新設されたことに伴い、本町から贈呈したロゴマーク入りのはんぎりを使い、講習会が行われました。初めて挑戦した生徒たちは、前進できず立ち往生。不安定なはんぎりのバランスを取るのに四苦八苦し、プールに落ちてしまう生徒もいました。

昨年、中学生のときに一般男子の部で優勝した曾我部孝祐さんは、「今年も優勝したい。団体戦でも上手なメンバーをそろえて勝ちに行く」と話していました。

H-1 グランプリは8月6日、塩屋海岸で行われます。



㊤昨年優勝した曾我部さん ㊦町長が伊予高を訪問しはんぎりを贈呈 ㊧はんぎりに苦戦する生徒たち



市町が連携し地域の発展・活性化を 松山圏域連携中枢都市圏 連携協約締結式

「松山圏域連携中枢都市圏 連携協約締結式」は7月8日、松山全日空ホテルで開催されました。

この連携協約は、人口減少・少子高齢化社会の中でも、住民の皆さんが安心して快適な暮らしができるよう、地域の持続的な発展と活性化を目指すため締結されたものです。協約には、本町をはじめ、松山市、伊予市、東温市、久万高原町、砥部町の首長が参加しました。

さらに、この協約に併せ、「まつやま圏域未来共創ビジョン」が策定され、連携を図っていくための指針が打ち出されました。今後は、この連携協約書とビジョンに基づいて具体的な事業を検討し、実施していく予定です。

松山圏域連携中枢都市圏 連



締結式で握手を交わし、一層の連携を誓う松山圏域の6市町の首長（岡本町長は左から2番目）

連携して取り組む分野と基本方針

① 圏域全体の経済成長のけん引

- ① 市町の特長を生かした一体的な産業振興と企業活動支援
- ② 農林水産物のブランド化と6次産業化による販路拡大
- ③ 山・街・海をつなぐ広域観光の推進

② 高次の都市機能の集積・強化

- ① 安全・安心の圏域づくり
- ② 広域的公共交通網の構築と圏域拠点の整備
- ③ 圏域における課題解決機能の向上

③ 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

- ① 医療・介護・福祉サービスの充実
- ② 結婚・出産・子育て支援の充実
- ③ 文化・スポーツ施策等を通じた圏域の活性化
- ④ 災害対策の推進
- ⑤ 環境保全施策の推進
- ⑥ 暮らしたい・戻りたいと思える圏域づくり
- ⑦ 圏域内行政サービス効率化等の推進

まつやま圏未来共創ビジョン



④「おいしいね」親子でおいしく食べる ⑤「上手に切れたよ」 ⑥親子で協力して皮むき



自分たちで作ったカレーに大満足

松前幼稚園カレーパーティー

松前幼稚園の恒例行事である「カレーパーティー」は6月29日、西公民館で開かれ、園児、保護者や地域の人など約180人が参加しました。

パーティーに先立ち、園児たちはカレーのルーなどの食材をお店で購入。お金の使い方や商品の購入方法を学びました。

当日は、園児たちがまさきっ農園で育てたジャガイモやタマネギを、親子で協力して皮をむいたり切ったりしました。その後は、婦人会の皆さんにバトンタッチして、おいしいカレーに仕上げてもらいました。

園児たちは、カレーを食べると「おいしい」とにっこり笑顔に。たくさんおかわりをして、栄養と愛情がたっぷり詰まったカレーを味わっていました。